

夢の扉を開く、創立150周年！

桑村小学校 令和5年11月27日 No.11 文責 渡邊

150周年記念式典と「はごろも『夢』講演会」を終え、それぞれの桑っ子がそのよさをいっぱい感じました！①

150周年記念式典と「はごろも『夢』講演会」を振り返る中、1年生から3年生の子供たちが感じたことを紹介します。

【第1学年児童の振り返りより】

- ◆オペラのコンサートは、こえがたかくてすごかったです。ピアノもすごかったです。オペラをわたしははじめてみました。また、みたいとおもいました。
- ◆はじめてオペラをきいて、すごい大きなこえでビックリしました。水ふね先生は、マイクなしであんなに大きなこえでうたうことができ、いっぱいれんしゅうしたんだなとおもいました。大はら先生のながいこえにもおどろきました。あんなにほそいからだでも、大きなこえでうたえるのなら、わたしでもできるかもしれないなとおもいました。



【1年生は絵と文で表現】

水ふね先生のおはなしをきいて、ゆめにむかってがんばることをおしえてもらったのでがんばりたいです。

- ◆さくまさんのうたがじょうずでした。「ステイホーム」の1ばんがわたしはすきです。いっしょにうたえてうれしかったです。

【第2学年児童の振り返りより】

- ◆声がきれいでした。オペラかしゅになるためにずっとがんばったのがすごいです。わたしのゆめはかんごしになることです。なんでかんごしになりたいかという、びょうきの人やいろいろな人を助きたいからです。

わたしも水船先生のように、ゆめをあきらめないでがんばりたいです。

- ◆わたしは、オペラをはじめて見てかんどうしました。オペラはいろいろな歌があって、すごいと思いました。わたしがいちばん気にいったのは、「パパパの二重唱(にじゅうしょう)」です。なぜかという、楽しくもりあがる歌なので、わたしは大好きです。

そして、わたしのゆめは、ほいくしになることです。小さい子や赤ちゃんがすきなので、ほいくしになりたいとおもいました。

水船先生が言ったことで、わたしはもっとほいくしになりたいという気持ちが大きくなりました。

【第3学年児童の振り返りより】

- ◆わたしは、水船先生のすばらしいのは、声を高くしたり、低くしたりするところだと思いました。オペラを歌っているときに、声をかえてすごいなと思いました。

ゆめをかなえることはかんたんではないという話は、よくゆめのことがわかってよかったです。わたしは、かんごしと小学校の先生でなやんでいます。どちらかのゆめに向かって努力していきます。

- ◆水船先生のお話をきいて、ゆめをかなえることはかんたんではないことがわかりました。そして、水船先生たちの音楽や歌声をきいて、勇気をもらいました。わたしは、水船先生たちをみならって努力して、自分のゆめをかなえたいと思いました。

すてきな音楽や歌声がきけて、よかったです。